



あさがおがたはにわ 【朝顔形埴輪ってどんなハニワ?】

文化財センターのはにわ館では、3月11日まで企画展『まつさかの埴輪』を開催しています。今回は、企画展でも展示しているちょっと聞き慣れない名前の埴輪「朝顔形埴輪」について紹介します。

どうして朝顔形埴輪って言うの?

夏に咲く「あさがお」の花が開いたように、埴輪の上の部分の形が大きくラッパ状になっているからです。朝顔の形に似ているところからこの名前がつけましたが、朝顔を表現したものではありません。



何を表現した埴輪なの?

死者にささげる食べ物を入れる壺の形をした「壺形埴輪」と、器台（壺をのせるための台）が変化した「円筒埴輪」を、初めからくっつけて作るようになってできたのが「朝顔形埴輪」です。



つぼがた
壺形埴輪



えんとう
円筒埴輪



あさがおがた
朝顔形埴輪

どのくらいの大きさなの?



今回展示する朝顔形埴輪の中で一番大きなものは96.8センチ！小さなものでも50センチくらいあります。

企画展では、松阪市内各地で見つかった円筒埴輪、馬やにわとり、巫女や武人の形をした埴輪などいろいろな種類の埴輪を展示しています。

ふだん目にすることが少ない埴輪をたくさん見ることができますので、ぜひお越しください。（担当）



【春立ちて・・・】

じんじつりっしゅん
人日立春

らいん
羅隠

いちにさんしごろくしち
一 二 三 四 五 六 七
ばんぼくめ しょう こ こんにち
万木芽を生ずるは是れ今日
えんでん きがんくも はら と
遠天の帰雁雲を払って飛び
きんすい ゆうぎょこおり ほどばし い
近水の遊魚氷を迸って出づ



（陰暦の正月も一日、二日、三、四、五、六日とすぎて、今日は七日目の「人日」。

ことしはその日がちょうど立春とかさなった。すべての木々があたりしく芽ぶくのがこの立春、とおくの空を北へかえる雁は雲をはらってとんでいき、ちかくの川魚はとけかけた氷をくぐり勢いよくとびはねる。）

古来、中国では陰暦正月の1日 ^{にわとり}鶏、2日 ^{いぬ}狗、3日 ^い猪（イノシシブタ）、4日 ^{ひつ}羊、5日 ^{うし}牛、6日 ^{うま}馬の日として、それぞれの生きものへの殺生をつつしみ、7日目は人の日（人日）として7種類の野菜を（七草）をいれた熱いスイモノを食べる習慣がありました。そして、これが日本に伝わり七草粥の由来になったといわれています。

暦のうえではすでに七草、節分、立春もすぎ、春の足音がそこまで聞こえてきました。文化財センターで現在開催中の企画展「まつさかの埴輪」では、松阪地域でくらしした古代の人たちの身近にいたであろう、馬や鶏などの動物埴輪も展示されています。早春のやわらかな日ざしの中、わたしたちと同じ土地の空気をすっていたかもしれない古代の人たちがつくりだした、埴輪の「かたちとところ」にふれてみられてはいかがですか。

羅 隠 晩唐・五代時代の詩人（833～909）
（所長）

文化財センター はにわ館 & ギャラリー2月の催し物予定

月曜日、祝日の翌日は休館です。開館時間は9時～17時です（入館は16時30分まで）。

【はにわ館】 入館料 100円（18歳以下無料。）

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■企画展「まつさかの埴輪」1月28日（土）～3月11日（日）

★2月5日（日）・3月4日（日）13:30～14:30にミュージアム・トークを開催します！

当センターの職員が企画展の展示解説を行ないます。当日、直接第2展示室へお越しください。（申込不要）

【ギャラリー】 入場無料

第1G ■陶埴の会作陶展 2/5（日）～2/12（日） *毎日10:00～、12日は16:00まで

第2・3G ■南勢地区高等学校美術展 2/12（日）～2/19（日） *19日は15:00まで

第1G ■2012・こどもたちとおとなのあーと・なう展 2/26（日）～3/11（日） *11日は16:00まで

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】http://www.city.matsusaka.mie.jp/



バーコード読み取り
（文化財センター情報）



企画展『まつさかの埴輪』ポスター